

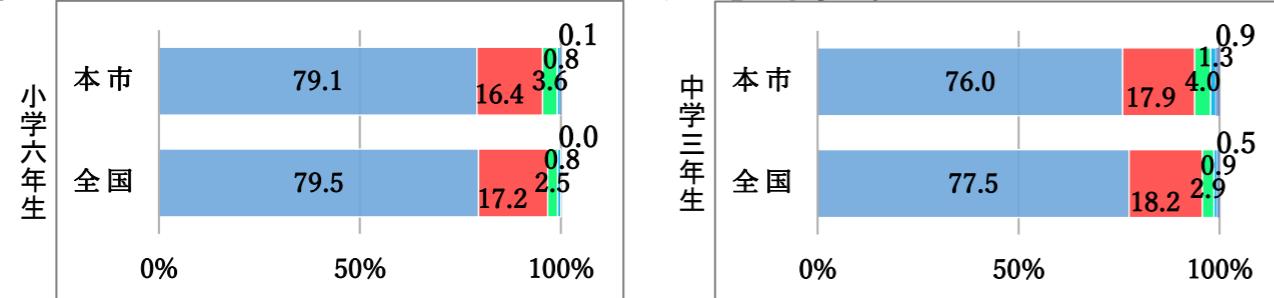
いじめについて

いじめは、ぜったいにゆるさない。いじめのない学校をめざして！

学校では、いじめアンケートや相談活動等を実施し、きめ細やかな実態把握と迅速な対応ができるよう努力しています。また、いじめの根絶に向け、道徳や学級活動等の学習を通じても取り組んでいます。

いじめの未然防止、早期発見・早期対応のためには、ご家庭の協力が不可欠です。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にしていただき、悩み事等があれば相談できる環境づくりに、今後もご協力をお願いします。家庭と学校が連携し、いじめから子どもたちを守りましょう。

◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

ひとりで悩まないで！ 悩みを話してみませんか。

学校に行きづらい、いじめられているかもしれないなどの悩みや不安について、一緒に解決の方向を探っていきましょう。

いじめ、ネットいじめ

- ・子供 SOS ダイヤル（文部科学省）
0120-0-78310 (24 時間対応)
- ・ネットいじめ通報サイト（京都府教育委員会）
<パソコン・携帯電話・スマホから>
<http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?p=4406>

不登校

- ・木津川市教育支援センター
(キッズふれあい教室・親のための相談室)
<http://www.kizu.ed.jp>
<電話相談>0774-72-2811
- ・きょうと不登校相談ダイヤル
075-585-7588 (毎曜日 10:00-16:30)

スクール・カウンセラー

- ・巡回相談（各小中学校）
学校の先生に、相談日と時間の予約をしてください。
- ・市カウンセリングルーム
<電話相談>（木・金曜日 14:00-15:00）
0774-72-2650
<面接相談>（木・金曜日 9:00-17:00）
予約：0774-75-1230（月～金曜日：学校教務課）

体罰（たいばつ）

- ・体罰専用電話（京都府教育委員会）
075-612-5013 (毎曜日 11:30-18:30)

いろいろな悩みごと

- ・京都いのちの電話
075-864-4343 (24 時間対応)
- ・少年サポートセンター<ヤングテレホン>
075-551-7500 (24 時間対応)
- ・京都府総合教育センター (24 時間対応)
<ふれあい・すこやかテレfon>
075-612-3268
075-612-3301

ヤングケアラー

- ・京都府ヤングケアラー総合支援センター
<電話相談>075-662-2840 (10:00-18:00)

問い合わせ先 木津川市教育委員会 学校教育課 0774-75-1230(月～金曜日 8:30-17:15)

〒 619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110 番地9

TEL 0774-75-1230 (直通) FAX 0774-73-2566

共に「学び」「喜び」「成長し」未来を力強く生きる

“きづがわっ子”をめざして

令和6年度 木津川市教育委員会

子どもたちの健やかな成長をめざし、保護者・地域の皆様とともに

～令和6年度全国学力・学習状況調査結果から～

木津川市の小・中学校では、子どもたちが未来の社会を自立し、豊かに生きていく基盤をはぐくむため、全ての子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるとともに、一人ひとりの能力、個性を最大限に伸ばす教育の推進に努めています。

子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちの現在の実態を直視し、学校・家庭・地域社会が連携し、社会総がかりで子どもを守り育てることが大切です。

令和6年4月18日に実施された令和6年度全国学力・学習状況調査結果をもとに、木津川市の子どもたちの学力と生活実態の状況についてお知らせし、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願いする次第です。

調査の概要

(1) 目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒対象）を対象として実施。

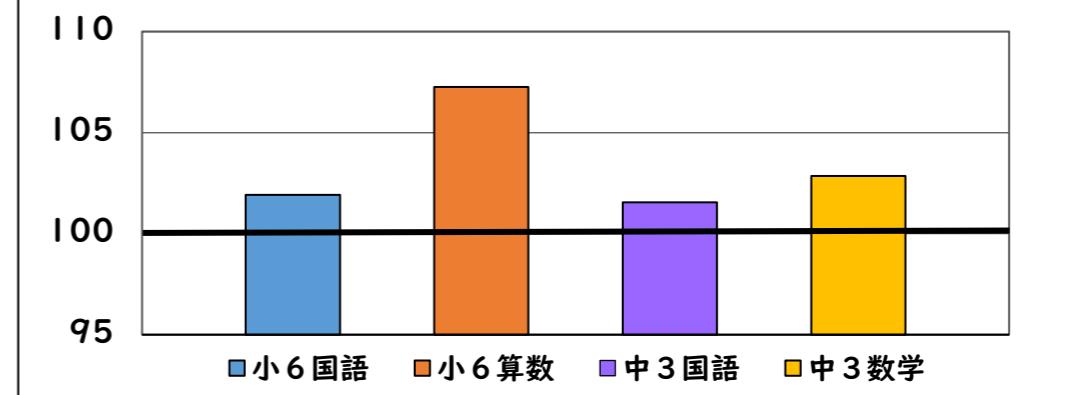
(2) 内容 小学校：国語、算数、質問調査
中学校：国語、数学、質問調査
※質問調査は、オンラインで実施

学力の状況について

全ての教科で、全国平均を上回っています。

本市の児童生徒の平均正答率は、全ての教科において全国平均を上回っています。今後とも、個々の児童生徒に視点をあて、より質の高い学力を身に付けさせるため、さらなる「知識」の定着と、「活用能力」の育成をめざしていきます。

なお、グラフは全国平均を100とし、標準化した数値を表しています。



家庭生活の状況について

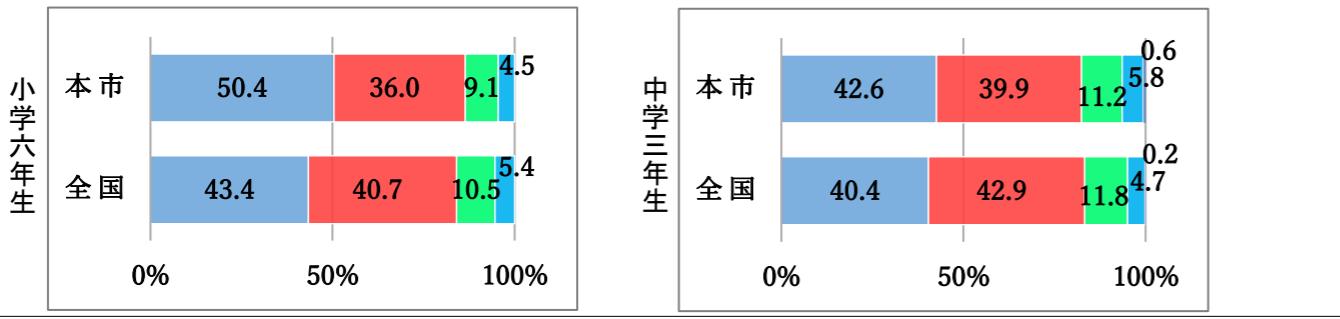
家庭でのよりよい生活・学習習慣のさらなる定着をめざして！

<本市の児童生徒の主な特徴>

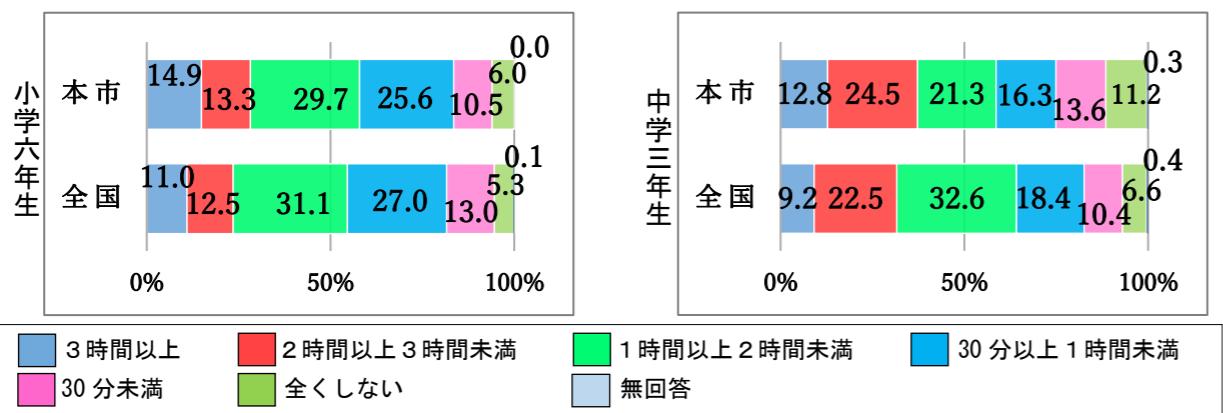
- 「自分によいところがある」と肯定的に感じている児童生徒が8割を超えており、平日、学校以外で2時間以上勉強をしている児童生徒が全国平均を上回っている一方、全くしない生徒も全国平均を上回っており、二極化が進んでいる。また、休みの日に学習に取り組んでいる児童生徒の数値は、全国に比べて低い状況にある。
- 家庭等で計画的に学習が出来ていない児童生徒も少なくない。
- 自分で学び方を考え、工夫するという主体的な学習への取組の意識は、全国に比べてやや低い状況にある。

よりよい生活習慣・学習習慣を身に付けるため、今後も学校と家庭が連携を深めていきましょう。

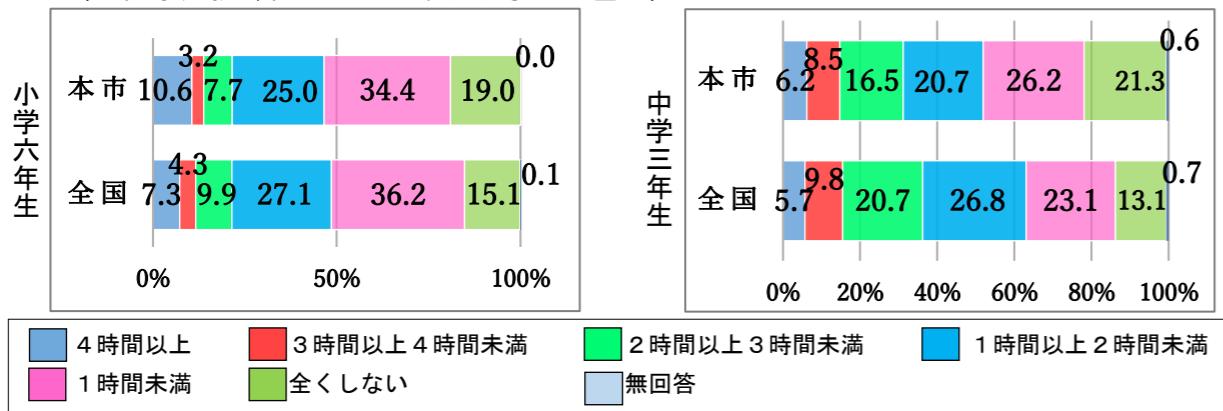
◎ 自分には、よいところがあると思いますか。



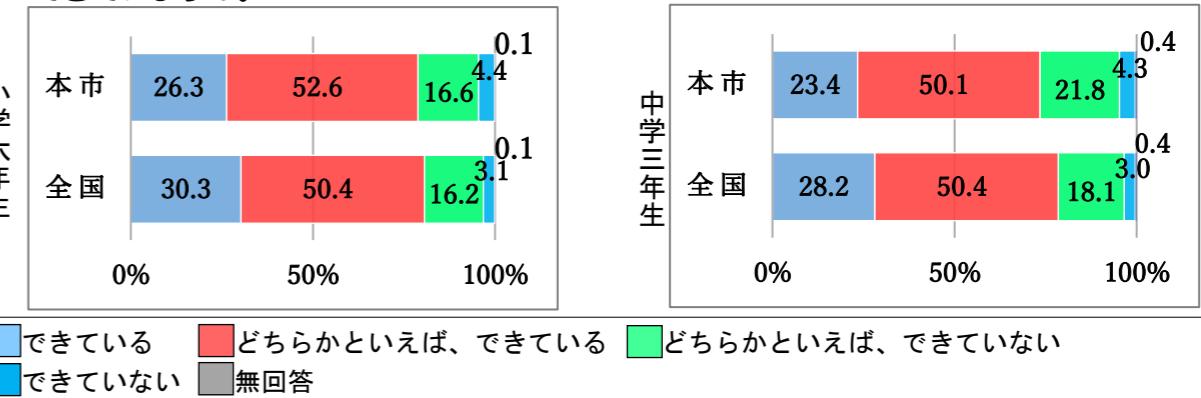
◎ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾、家庭教師、インターネット学習も含む）



◎ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾、家庭教師、インターネット学習も含む）



◎ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。



学校と家庭が一緒にになって、子どもたちを育てていきましょう！

令和6年度第1回木津川市いじめアンケートの結果によると、『いやな思いをした』児童生徒の発生率は、小学校18.8%、中学校4.0%でした。そのうち、『誰かに相談したか』の質問で『家族』と答えた児童生徒は、小学校・中学校とも約60%と高くなっています。

各ご家庭でも、より一層学校のことを話題としていただき、学校と家庭が連携を強め、一緒にあって、より良い生活環境づくりに努めていきましょう。

今後10年を見据えた木津川市の教育施策について

～第2次木津川市教育振興基本計画～

本市の教育がめざすべき方向性及び目標を明らかにし、具体的な施策等を示すため令和6年2月に「第2次木津川市教育振興基本計画」を策定しました。本計画では、「めざすこども像」を「共に『学び』『喜び』『成長し』未来を力強く生きる“きづがわっ子”」と定め、夢をもち、自分や他者を大切にし、どんな困難な状況にあっても、共に粘り強く対処し、共に喜び、未来を切り拓いていくことのできる「生きる力」にあふれた、“きづがわっ子”的の育成をめざしていきます。



木津川市立コミュニティ・スクール構想

「コミュニティ・スクール」は、学校と保護者・地域が力を合わせて学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を設置した学校です。学校運営協議会は、学校と保護者・地域が学校の目標や現状、課題を共有し、誰もが学校運営の当事者となって取り組んでいくものです。

本市のめざす教育の実現に向けて、令和8年度にすべての木津川市立小学校・中学校に学校運営協議会を設置し、地域社会と一緒にして子ども達をはぐくむため「木津川市立コミュニティ・スクール構想」を定めました。学校運営協議会を中心に、学校・保護者・地域が互いに信頼・連携を深め、「地域とともにある学校」をめざします。



※学校運営協議会による学校・保護者・地域との連携のイメージ